

基礎教育科目

数理・情報系 〔情報科学〕

教科の勉学に対する総論

情報科学A、B

情報機器としてのパソコン利用は現代では必須事項になった。この教科ではそうした必要に応じて情報科学の基礎となる概念の学習、文書作成、表計算、プレゼンテーション、インターネット、プログラミングなど種々の項目から2、3の項目を選んで、組み合わせの異なるいくつかのクラスを設定する。どのクラスも出発は初心者でよいという構えで行うので、学生は、当シラバスに書かれた学習項目と開講時限を考慮して随意に選択をしてください。

情報科学C

パソコンにおいても利用権限の制限された一般ユーザーと、全ての権限の与えられた管理ユーザーが厳密に区別されるようになった。情報科学A、Bでは一般ユーザーとしてパソコンの利用を学ぶ。しかし、パソコンに新しい機能を追加したり、計測器を接続したり、ネットワークサーバとして利用したりするためには、管理ユーザーとしての権限が必要になる。

情報科学Cでは、学生に管理ユーザーとしての全権限を与えて、コンピュータハードウェア、ソフトウェアや周辺機器のインストール、ネットワーク管理などの仕組みを学ぶ。

履修方法について

情報科学A、Bでは、1教室のパソコン台数に限りがあるため、受講者数が定員を超えないよう、初回授業よりも前に抽選を開始します。履修希望者はこの抽選に参加して履修の許可を得る必要があります。

具体的な募集については、学期の始めにL1号館教務係掲示板に詳しく掲示されます。履修希望者は見落としのないよう注意してください。後期の分も、前期募集期間に募集し、後期になってからの募集は空きのある場合のみとなりますから注意してください。

情報科学Cでは、授業の性質及びパソコン台数の関係から、履修希望者数が定員を上回った場合には、初回授業内で抽選を行うため、履修を考えている場合には初回授業に必ず出席してください。なお、後期にも同様の授業がありますが、後期に履修を考えている場合には、前期中に履修登録をした上で、後期初回授業に必ず出席してください。履修の計画は、当選しないことも考慮して立ててください。

※詳しくは次頁を参照してください。

情報科学の設定時間詳細

※各時限には定員がありますので、注意して下さい。

※優先学科以外の学生も応募出来ます。優先は、抽選の際に優先されるという事です。

	科目名	担当者	曜日	時限	定員	優先学科専攻等
前期	情報科学A	藤原	月	1・2	40	MB
	情報科学A	高橋	月	3・4	40	
	情報科学A	藤原	火	1・2	40	MB
	情報科学A	小川	火	2 4・5	40	
	情報科学C	小川	水	5	14	
	情報科学A	小川	水	2	40	
	情報科学A	高橋	木	1・2	40	
	情報科学A	福田	木	4・5	40	
	情報科学A	福田	金	1・2	40	
	情報科学A	吉田(勝)	金	2・3・4・5	40	
	情報科学A	杉崎	金	3・4	40	
	情報科学C	福田	金	4	14	
	後期	情報科学B	高橋	月	1	40
情報科学B		高橋	月	2	40	OV
情報科学B		藤原	月	1・2	40	
情報科学B		杉崎	月	4・5	40	
情報科学B		藤原	火	1	40	Z・E、N、S教職
情報科学B		小川	火	2	40	HS
情報科学B		小川	火	4・5	40	
情報科学C		小川	水	5	14	
情報科学B		藤原	火	2	40	
情報科学B		小川	水	2	40	
情報科学B		福田	水	5	40	
情報科学B		高橋	木	1・2	40	
情報科学B		福田	金	1	40	ML、N、S教職
情報科学B		吉田(勝)	金	2	40	ML
情報科学B		吉田(勝)	金	3	40	RT
情報科学B		吉田(勝)	金	4	40	ML、S教職
情報科学C	福田	金	4	14		